

目次

はじめに

第1章 道路景観に関する評価手法の現状	1
1.1 マニュアル、ガイドラインおよび事例集等	1
1.1.1 国内のマニュアル等の調査	1
1.1.2 海外のマニュアル等の調査	3
1.2 景観評価に関する研究の動向	5
1.2.1 評価尺度を用いる景観評価手法とその特徴	5
1.2.2 評価尺度を用いない景観評価手法とその特徴	5
1.2.3 既往研究事例	6
第2章 既往の景観対策に関する効果・課題の整理	8
2.1 専門家の意見	8
2.2 道路管理担当者の意見	10
2.3 沿道住民および道路利用者の意見	11
第3章 景観配慮項目と景観対策	14
3.1 一貫性の確保	15
3.2 積極的な美しさの創出	15
3.3 心地よい走行景観の創出	16
3.4 沿道景観との調和	17
3.5 存在感の軽減	17
3.6 圧迫感の軽減	18
3.7 単調性の軽減	18
3.8 煩雑さの軽減	19
3.9 唐突感の軽減	19
3.10 輪郭線の連続性の確保	20
3.11 眺望の確保	20
第4章 道路用遮音壁の景観事例	21
4.1 事例整理手順	21
4.2 道路用遮音壁の景観事例集	22
4.2.1 遮音壁をデザイン的に統一する	22
4.2.2 遮音壁の平面配置を工夫する	24
4.2.3 規模や形式等が異なる遮音壁の接合部において遮音壁の平面配置を工夫する	26
4.2.4 笠木等により遮音壁天端を被覆修景する	28
4.2.5 遮音壁の天端を滑らかにする	32
4.2.6 天端の段差とその間隔を等しくする	34
4.2.7 先端部の改良により遮音壁の高さを抑える（分岐型遮音壁）	36

4. 2. 8	先端部の改良により遮音壁の高さを抑える（吸音装置の設置）	37
4. 2. 9	沿道景観と調和した素材を採用する.....	39
4. 2. 10	遮音壁前面にテクスチャー・パターンを付与する	40
4. 2. 11	遮音壁背面にテクスチャー・パターンを付与する	45
4. 2. 12	沿道景観に配慮した色彩を選択する	47
4. 2. 13	遮音壁に透光板を設置する	48
4. 2. 14	遮音壁背面に外装板等を設置する	58
4. 2. 15	要所において景観的アクセントとなるパネル等を設置する	60
4. 2. 16	要所において景観的アクセントとなる色彩を付与する	61
4. 2. 17	遮音壁端部のおさまりを整える	62
4. 2. 18	遮音壁前面に修景緑化を行う.....	64
4. 2. 19	遮音壁背面に修景緑化を行う.....	70
4. 2. 20	遮音壁端部に修景緑化を行う.....	75
4. 2. 21	他の道路施設とのデザインの脈絡を確保する.....	77